

2018年度 社会連携研究プロジェクト活動報告書

2019年 4月 22日

和光大学地域連携研究センター  
センター長 小林 猛 久 殿

代表者氏名 小林猛久



研究プロジェクトの名称

「地域デザイン」を基盤とした、次世代のための異質力育成プログラムの開発（1年目）

研究目的

本学の学生や教職員との連携により地域活性化を実現したいという企業や市民活動団体、各種行政機関との連携プロジェクト創出と運営やその評価を行うシステムを構築して、組織的かつ継続的に地域活性化を働きかけるとともに、「異質力で輝く」人材育成の実践的研究をベースとして、地域の多様な人々と連携活動を希望する学生やあらゆる授業・課外活動をデータベース化することにより、より良いマッチングや活動支援を実現する。

プロジェクト所属メンバー（氏名の右の欄に、本学専任教員＝教、共同研究員＝共と記入してください。）

岩本陽児	教	山田 貢	共			
倉方雅行	教					
堂前雅史	教					

研究活動の経過（800字以内）（打ち合わせ、報告、招待講演、調査旅行などの月日、テーマ、報告者、目的地などを記入してください。）

2018年7月24日（火） 福田紀彦川崎市市長訪問 担当 山田、倉方

川崎市初のワイン完成に際して、そのラベルデザインをした学生3名が、福田市長を訪問し、ワインの贈呈と事業活動の報告を行った。試飲された川崎市市長より「ワインの味も良く、ラベルも素敵に仕上がっている」と好評を頂いた。

2018年11月2日（金） 岡上分館主催子育てプロジェクト支援 担当 山田、小林、学生5名。

学生より、地域デザインの活動内容の発表と、学生たちが育てたサツマイモを使った蒸しパンケーキの試食会を実施。

2018年11月4日（土） 岡上分館と連携した、親子いもほり体験会を実施 担当 山田、学生8名。

学生が育成してきたサツマイモの収穫体験。学生たちが、植え付けから収穫までの工程を説明し、参加した子ども達の収穫をサポートした。体験参加した子ども30名（小学生以下）、付き添いの保護者12名。

2018年12月21日（金） 黒岩 神奈川県知事、福田 川崎市市長訪問 担当 山田、倉方、小林、学生1名。

禅師丸柿スパークリングワインの完成報告を行った。

2018年12月22日（土） 万福寺人参品評会参加（主催：里山フォーラムin麻生／麻生区生涯学習支援課）

参加学生5名、参加メンバー 小林、山田

毎月、第1金曜日の18：30から20:00 岩本、堂前、倉方、山田、小林、他 岡上地域の方々

和光大学と岡上地域の発展や教育などの連携に関する相談会を開催。

研究担当者以外にも、適宜岡上地域の住民の方と情報交換を行った。

研究成果の概要（1200字程度）（どのような方法で調査、研究を行ない、どのような新発見が得られたか。またそれを今後どのように活かすことができるか、など）

共通教養科目「地域デザイン」の授業活動を基盤とした地域の農業生産法人との連携による社会と教育現場が融合した人材育成システムの構築や地域活性化へ貢献するシステムを発展させ、他の科目「タウンマネジメント」（共通教養科目）でも、町田市の婚姻届け・マンホールデザイン、禅師丸柿スパークリングワインのラベルと箱デザイン、小田急鶴川駅の安全利用プラン作成など、多様な実体験型学習を実現することにより、学生の学習意欲の向上や地域経済の活性化の有効性を大きく示すことができた。

特に、町田市の婚姻届け・マンホールデザイン、禅師丸柿スパークリングワインのラベルと箱デザインは、多くのメディアでもその成果が取り上げられ、反響が大きかった。さらに、禅師丸柿スパークリングワインでは、2018年12月21日（金）にデザインを担当した学生と指導者2名と禅師丸柿保存会が、黒岩神奈川県知事と福田川崎市長を訪問して、大学における地域連携による人材育成と地域活性化の成果報告を行った。黒岩県知事・福田川崎市長より、デザイン内容や学生の学びについてお褒めや応援の言葉を頂いた。

現在、大学が所在する地域である岡上の活性化を図るためにNPOの設立準備が進んでいるが、本プロジェクトの成果が認められ、その支援を次年度に依頼されている。このNPOの設立により、芸術学科が取り組んできた黒川アート散歩の「岡上」版や鶴川小学校の寺子屋事業（川崎市が開催予定）の運営支援などのほか、様々な地域活性化に役立つ学生、教職員の活動が期待できる。

また、岡上分館の市民自主企画による「花の育成を通じた地域活性化事業」や子育て支援事業（サツマイモ収穫体験）は、次年度の開催が決定しているので、こうした地域連携・人材育成プロジェクトを定着させ、全学的なシステムへと拡大し、それを恒常化させることにより、和光大学の異質力育成プログラムとして完成をさせたいと考えている。

成果の発表文献（標題、著者名、雑誌名、巻号頁、発行年等）

（発行年は厳密に2017年4月～2018年3月に刊行されたものだけに限らず若干前後のものも含めてください）


※ 提出期限=2019年4月26日（金） 提出先=企画室企画係（岡本）

※ 用紙が足りない場合は別紙を添付してください。

※ できるだけこのデータに入力いただき、e-mailで送信してください。

※ [kikaku@wako.ac.jp](mailto:kikaku@wako.ac.jp)（企画係）